

### 1 PLAN(目的・概要)

政策名	港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	総務部 危機管理課長	
施策名	港の安全性・信頼性・危機管理の向上	成果	コスト			
事務事業名	沿岸防災情報管理システムなどの維持			連絡先	052-654-7813	
目的	対象(誰・何を)	システム			事業期間	平成13年度～
	意図(どういう状態にしたいか)	的確な防災活動に活用します。				
概要	沿岸防災情報管理システムなどを適切に維持し、的確な防災活動に活用します。			根拠法令等	名古屋港管理組合 防災計画	
令和元年度の実施予定	試験通報: 操作従事者に月1回の試験通報を行います。 保守点検: テレメータ監視装置、自動通報装置、無停電電源装置 各1式、無線局 13局、リミットスイッチ 34箇所			実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
				関連シート		

### 2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	操作従事者への試験通報を毎月実施しました。 また、業務委託による沿岸防災情報管理システムの保守点検を6月に実施しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	18,801	20,260	68,517	35,859	
人件費	千円	7,352	7,352	7,339	7,348	
合計	千円	26,153	27,612	75,856	43,207	

### 3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
試験通報(到達・応答の精度)(%) (単年度管理型)	目標	100	100	100	100	主のシステムである沿岸防災情報管理システムによる通報試験(月1回)の到達・応答の精度	操作従事者の対応
	実績	100	100	100			
事業進捗状況(元年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る		
保守点検(回) (単年度管理型)	目標			1	1	主のシステムである沿岸防災情報管理システムに係る各種装置についての保守点検実施回数	
	実績	1	1	1			
事業進捗状況(元年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	通報試験の到達・応答の精度は、良好な結果を得ているため、引き続きこの状態の維持に努めていきます。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 的確な防災活動に活用するため、沿岸防災情報管理システムなどを維持することは、海岸管理者である本組合として必要性の高い事業です。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○ 沿岸防災情報管理システムなどを維持することにより、的確な防災活動に活用することができます。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 最低限必要な保守点検費用、人件費で実施しました。					

### 4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	的確な防災活動に活用できるよう、継続して維持していく必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題	2年度以降の取組		
的確な防災活動に活用できるよう、沿岸防災情報管理システムなどを適正に維持していく必要があります。	引き続き、月1回の試験通報や保守点検を確実にを行い、適正な状態で維持していきます。		